



個性を認め、多様性を容認する

みなさんは「LGBT」という言葉を聞いたことはありますか。LGBTとは、同性愛や両性愛（バイセクシャル）、体が男性でも心は女性、またはその逆（トランスジェンダー）など、さまざまな性的少数者の総称で、国民の13人に1人いるといわれています。最近では、LGBTであることを告白（カミングアウト）する人が増えていますが、自分を否定されることを恐れて、悩んでいる人もたくさんいます。私たちは「男性だから、女性だから」など、固定観念で人を捉えてしまいがちです。しかし、1人の人間には「その人だけの個性」があります。LGBTもそのひとつ。多様な個性が共存している社会だからこそ、固定観念を取り払って接しなければ、相手を理解し、権利を守ることはできません。さまざまな個性を認め、多様性を容認することで「すべての人が人間らしく幸せに生きる」社会が実現できるのです。